

平成28年度

「言語聴覚の日」イベント報告



東京都

言語聴覚の日講演会「いまを生きる」開催

平成28年9月11日、言語聴覚の日講演会「いまを生きる」が北里大学白金キャンパスにて開催されました。講演は2題あり、「吃音のある言語聴覚士 この道を選んだ理由」では、本田裕治さん、奥様の愛美さん、職場の先輩言語聴覚士である小林祐貴さんの3人の言語聴覚士が登壇されました。2つ目の講演「失語症になって」では、丸山奈津子さんが失語症の発症から、失語症会話パートナーを務められる現在までをお話してくださいました。丸山さんの急性期からの言語訓練を担当された原田紗衣さん、「NPO 法人言語障害者の社会参加を支援するパートナーの会 和音」の田村洋子さんにもご登壇いただきました。各発表ともに担当言語聴覚士と当事者との掛け合いにて行われ、長い年月のなかで生まれた言語聴覚士と当事者・ご家族との【関係】が、なにより会場に足を運ばれたみなさまの心を打ったのではないかと感じられました。

フロアでは、昨年度と同様に相談コーナー、企業展示のブースを設けました。会場は都民の方・学生などから熱心な質問を受けるなど、アットホームにかつ熱気にあふれていました。

参加者は、言語聴覚士の他にも、言語聴覚士を志す学生、当事者の方など実に様々な方々の参加がありました。今後もこのような活動を通し、言語聴覚士の活動を広く知っていただければと感じました。

東京都言語聴覚士会 広報部
近藤 晴彦

